

## 第 51 回神奈川県立座間谷戸山公園 現場研修会報告

—テーマ：湿地環境の順応的管理—

今回の研修会は、午前中に湿地環境の順応的管理というテーマで、湿生生態園のヨシ刈りと、午後は、**2005**年に樹林管理で間伐を行った地区の林床植生調査を行いました。



今回も晴天の中、研修会がスタートしました。  
まずは、作業の意味や理由などをしっかりと理解しながら行うために、講師からの研修内容の説明です。



午前中の作業は、湿生生態園のヨシ刈りです。  
今年もヨシの葉を梯子のように繋げた、タテシマノメイガという蛾の仲間の巣がたくさん確認できました。



こちらは一ヶ月前の研修会で、ヨシを刈った水路です。もうすでに、ヨシが生長してきています。



左が作業前の池です。覆っていたヨシを刈り取って明るくすることで、他の植物も出てきやすい、多様な環境になることが期待できます。



ヨシ刈りの間に見つけた植物も、  
図鑑を使って調べます。



作業後の池です。先程までヨシに覆われていた水面が、かなり開けてきました。



一般の方も使うデッキですから、作業後はみんなで清掃します。



午後は恒例の「最近気になった環境に関するニュース」の発表からスタート。その後、コナライヌシデ林の間伐後の林床植生調査を行います。



写真の手前は4年程前に、奥側は数ヶ月前に  
間伐した地区です。手前の地区では萌芽更新  
が始まっているのが、分かると思います。



4年程前に間伐した地区で見られた植物を一人3種探し、種を調べました。  
葉の生え方、葉の形、匂いなど、色々な特徴を捉えて調べていきます。



その後、数ヶ月前に間伐した地区でも植物を探しましたが、その数はかなり少数でした。  
間伐して4年後の場所と、数ヶ月前まで暗かった場所では、林床に入る光りの違いで  
見られる種やその数が大きく異なってくるがよく分かりました。



今回も研修中、たくさんの生きものに出会いました。

写真左からゴマダラカミキリ、ヨツスジトラカミキリ、ベニシジミです。

これで今回の研修は終了です。次回は、湿地環境の植生管理作業を行います。ますます生きもの達の活動が活発になる時期ですので、研修中に彼らのイキイキとした姿を間近に観察もできます。是非この機会に、奮ってご参加ください。